

## 第9編 バスの「2024年問題」



大村 猛

OHMURA Takeshi

川崎地質㈱  
大谷石採取場跡地観測所



### 2024年問題

最近、ニュースなどで「2024年問題」という言葉を見聞きすることが増えてきました。2024年問題には、大きく分けて通信サービス終了に伴う問題と、時間外労働の上限規制適用猶予期間終了に伴う問題がありますが、今回は、後者の物流に関する2024年問題に関連するバスの動きについて述べてまいります。

2018（平成30）年に改正された労働基準法では、働き方改革の一環として時間外労働の上限が規定され、2019（平成31）年4月から適用されています。ただし、中小企業では2020（令和2）年4月からの適用であるとともに、自動車運転の業務などの一部事業・業務については、長時間労働の背景に、業務の特性や取引慣行の課題があることから、時間外労働の上限について適用が5年間猶予され、また、一部特例つきで適用されることとされています<sup>1)</sup>。

この猶予期間が終了する2024（令和6）年4月以後、自動車運転の業務に従事する労働者は、別途、運転時間や勤務間インターバルについて定めた「改善基準告示」<sup>2)</sup>を遵守する必要があります。バス運転者については、1年間の拘束時間が改正前の原則3,380時間、最大3,484時間から改正後は原則3,300時間、最大3,400時間に減少、1か月間の拘束時間は、原則拘束時間

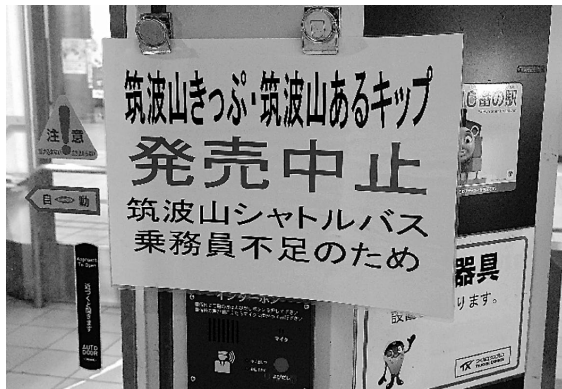
281時間に変化はないものの、改正前最大拘束時間が309時間から294時間に減少、1日の休息時間は改正前の継続8時間から改正後は継続11時間を基本とし、継続9時間を下限とすることが定められました。また、自動車運転の業務には、年間960時間の上限規制が適用されます。

バス運転士の運転業務に従事する時間や、拘束時間の制限が厳しくなることから、バス事業者は従来の運行本数を維持するためには、従来よりも多くの人員を確保する必要に迫られます。しかし、現在のバス業界は労働時間と比較した賃金が相対的に低い傾向にあることによる離職の進行、若い世代の大型二種免許取得者が少ないこと、さらに運転士の高齢化が進行していることから、全国的に深刻なバス運転士不足が発生しています。新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、次のページの表に示すようにバスの減便や路線廃止が相次いでいます。なかにはバスの増発に対応できないため、鉄道事業者が混雑回避を理由として観光地へのお得な切符の発売を中止する事例まで発生しています。

これらのバス事業者の動きの中でも、最も衝撃的な事象として、バス事業の終了が2023（令和5）年に2件発生しました。一つ目は福島県猪苗代・会津をエリアとする磐梯東都バス、もう一つは、大阪府富田林市などをエリアとする金剛自動車（金剛バス）でした。

2023年に実施されたバス路線の廃止・減便等の動き（一部）

主な営業エリア	事業者名称	内容
北海道	北海道中央バス	2023年12月1日から札幌市郊外と市内中心部を結ぶバス路線2路線廃止、12路線で接続地下鉄駅までの運行に短縮など
北海道	ジェイ・アール北海道バス	2023年11月1日から高速バス「ひろおサタ号」を当面の間運休
北海道	夕張鉄道	2023年10月1日に夕張・栗山・由仁・南幌と新札幌を結ぶ4路線のうち3路線廃止
北海道	ニセコバス	2023年12月1日から2024年3月31日まで小樽線を1日4往復→3往復に減便
北海道	千歳相互観光バス	2023年12月1日勇舞線3便廃止、7便道南バスによる代替運行 市民病院プール線土日祝日全便運休
北海道	函館バス	2023年10月1日から23系統で減便
北海道	道北バス	2023年10月1日から名寄線を1日12往復→7往復に減便 愛別線（永山経由便）廃止
北海道	士別軌道	2023年11月1日朝日線平日運行最終往復便の予約運行（デマンド）化
北海道	十勝バス	2023年8月21日に5路線廃止 一部減便等
北海道	網走バス	2023年12月4日から4路線で一部便を除き平日も土日祝ダイヤで運行（平日減便）
北海道	北紋バス	2023年4月1日から2路線休止 3路線土日祝日全便運休 3路線減便
北海道	くしろバス	2023年10月1日に3路線廃止
岩手県	岩手県交通	2023年12月1日から滝沢営業所管内平日ダイヤ3路線10便減便 等
秋田県	秋北バス	2023年10月1日に5路線廃止、27便減便等
秋田県	秋田中央交通	2023年10月1日に10路線・系統廃止 その他各路線で減便
秋田県	羽後交通	2023年11月30日限りで1路線廃止
山形県	山交バス	2023年9月30日限りで3路線廃止
山形県	庄内交通	2024年4月1日から1路線運行区間経路短縮（重複運行の解消）
福島県	磐梯東部バス	2023年9月30日限りで路線バス運行終了 会津乗合自動車（会津バス）が路線引き継ぎ
福島県	会津乗合自動車	2023年12月1日から3路線で49便から26便に減便
福島県	新常磐交通	2023年10月1日から平日58便、土日祝日12便減便
茨城県	関東鉄道	2023年12月20日から49系統減便（平日235便8.5%、休日116便6.1%）
埼玉県	イーグルバス	2023年10月23日から当面の間、ときがわ町路線を平日11便減便のうち6便はときがわ町による代替運行実施
千葉県	千葉中央バス	2023年10月1日に都賀線と大団台団地線の各系統を1日1～2便まで減便
千葉県	ちばフラワーバス	2023年9月15日限りで2路線廃止
千葉県	平和交通	2023年11月1日から1路線を当面の間運休、1路線を当面の間平日3便運休
千葉県	あすか交通	2023年8月1日から2路線で減便
東京都他	ジェイアールバス関東	2023年12月1日から高速バス2路線で減便 東京駅～富里・多古台線から撤退して千葉交通の単独運行に
東京都	京王バス	給与引き上げと「おかえり採用」の開始
東京都他	東急バス	2024年4月1日（予定）で分社化した「東急トランセ」を再合併し、乗務員採用活動の強化等を図る
東京都他	京浜急行バス	2023年9月13日から3路線で平日減便
東京都	日立自動車交通	2023年12月1日から葛飾線「レインボーかつしか」2路線の運行を1日1～2便程度の運行に減便 2024年春頃運行休止予定
東京都他	小田急ハイウェイバス	2023年12月19日から1路線3往復減便
神奈川県	横浜市交通局	2023年9月30日限りで83番系統の運行終了 10月1日から相鉄バスによる運行
神奈川県他	伊豆箱根バス	乗務員不足のため一部路線の減便を予定とウェブサイトに告知
新潟県	頸城自動車	2023年4月1日から3路線4便減便（うち2路線は全便運休中）
長野県	長電バス	2023年10月1日から7路線で減便 幸札線の土休日は2便運行を継続するが、利用者が目標を上回らない場合は廃止予定
長野県	アルピコ交通	2023年12月9日から長野市内の路線バス5路線で平日9便減便
長野県	上田バス	2023年8月7日から2024年3月31日まで高速バス2路線運休
富山県	加越能バス	2023年12月1日から2路線で減便
福井県	京福バス・福井鉄道	2023年12月1日から高速バス東京線（東京線急特急、ドリーム福井号、いずれも運休中）休止（運行終了）
愛知県	知多乗合（知多バス）	2023年10月1日に師崎線廃止 南知多町コミュニティバス（海っこバス）と統合
大阪府他	京阪バス	2023年12月16日（予定）の再編統合で7系統廃止 2024年春に9系統廃止 その他減便等
大阪府他	西日本ジェイアールバス	2024年3月31日限りで園福線運行終了（廃止）定期乗車券・普通回数乗車券発売完了
京都府	京阪京都交通	2023年10月23日～12月15日の平日に4路線9経路22便減便
京都府	京都京阪バス	2023年11月13日から平日の7路線18経路68便減便
大阪府他	阪急バス	2023年11月5日限りで4路線廃止 12月3日限りで1路線廃止
大阪府他	近鉄バス	2023年10月21日から1路線1便減便 等
大阪府	金剛自動車	2023年12月20日限りでバス事業廃止 一部の便を近鉄バス・南海バスその他交通機関で代替
大阪府	高槻市交通局	2023年4月1日から（平日）減便3路線、最終便の繰り上げ1路線（土日祝日）減便9路線、最終便の繰り上げ12路線
大阪府	北港観光バス	2023年11月20日から4路線で減便、始発時刻繰り下げ、最終便時刻繰り上げ等
兵庫県	伊丹市交通局	2023年7月24日から12系統休止
兵庫県	阪神バス	2023年11月3日から3路線で運行ダイヤの見直し
兵庫県	神戸フェリーバス	2023年4月から貸切バス事業休止
兵庫県	神姫バス	2023年10～12月に高速バス3路線を休止 2024年3月31日限りで三宮～谷上駅～有馬温泉線運行終了
兵庫県	ウィング神姫	2023年10月1日にテクノ線終発時刻繰り上げ
和歌山県	明光バス	高速バス浜浜大阪線運休（2023年11月1日～30日の1往復、12月1日～27日と2024年1月9日～31日の平日2往復）
鳥取県	日ノ丸自動車	2024年1月5日限りで隠岐汽船連絡バス運行終了
鳥取県	一畑バス	2023年8月14日から松江管内5路線で減便実施 10月1日に出張管内も運転士不足に伴うダイヤ改正実施
高知県	松江市交通局	2023年10月1日から4路線で減便、運行区間短縮
広島県他	中国ジェイアールバス	2024年4月1日周防営業所廃止 西日本バスネットサービス運行の「ひかりぐるりんバス」も同時に廃止
岡山県	中鉄北部バス	2023年8月1日津山駅～馬桑（奈義町）線 路線一部廃止 路線名を小坂線に変更
岡山県	備北バス	2023年10月1日から高速バス「大阪梅田～中国新見線」路線休止 横見線4便減便
岡山県	岡山電気軌道	2023年11月23日から8路線で減便を含む時刻改正を実施 2024年春にほぼ全路線で始発繰り下げ、最終便繰り上げ、減便実施予定
広島県	広島電鉄	2023年12月1日から5路線減便、最終便発車時刻の繰り上げ 一部路線の減便は廿日市さくらバスが補完
山口県	いわくにバス	2023年12月2日から3便減便
山口県	船木鉄道	2023年10月1日に「美祿駅～厚狭駅」路線廃止 コミュニティバス「あんもなと号」7路線廃止
香川県	琴参バス	2023年10月1日に2路線廃止
香川県	大川自動車	2023年7月1日に1路線一部区間運休
徳島県	徳島バス	2023年10月1日に徳島バス阿南の吸収合併に伴う運行路線の移管実施
愛媛県	せとうちバス	2023年10月1日に3路線廃止 5路線20便減便（区間減便2便含む）
愛媛県	瀬戸内海交通	2023年4月1日に1路線（2系統）廃止
愛媛県他	ジェイアール四国バス	2023年12月1日に運休中の高速バス「北陸ドリーム四国号」廃止 高速バス2系統減便運行中
福岡県	西鉄グループ	2023年10月1日から32路線で減便 減便の割合は最も多い筑豊地区の平日で約5.2%減
福岡県他	JR九州バス	2023年10月10日から高速バス「広島ドリーム博多号（福岡～広島夜行便）」を週末および繁忙期のみの運行に変更
長崎県	長崎自動車	2024年4月1日に16路線廃止
長崎県	壱岐交通	2023年10月7日から日祝日運休の3便について土曜日も運休対象とする
長崎県	島原鉄道	2023年8月28日から当面の間長崎空港線（本諫早駅前～長崎空港）全便運休 10月1日から重複区間への直通運行取り止めと運行日、本数、時刻等の見直し
熊本県他	九州産交バス	2023年5月～8月より「高速フェニックス号」、「高速福岡～黒川」の一部減便、「九州横断バス」の一部系統廃止 12月1日に菊陽巡回バス南部線一部系統の廃止
大分県他	日田バス	2023年7月1日から当面の間高速バス「福岡～枕立・黒川温泉線」2便減便
大分県他	亀の井バス	2023年9月1日に1路線廃止 1路線を土日祝日9往復から6往復に減便
鹿児島県	鹿児島交通	2023年10月1日に一部路線の廃止およびダイヤ改正実施
沖縄県	カリール観光	2023年1月21日から当面の間石垣路線バス6往復運休 10月1日から当面の間美ら海ライナー運休



筑波山シャトルバス臨時便の乗務員不足等が理由で鉄道会社のお得な切符の発売が中止された事例(つくばエクスプレス 南流山駅にて、2023年11月撮影)

## 磐梯東都バス

磐梯東都バスは、東都自動車グループが2003（平成15）年4月1日に設立したバス事業者で、当初は喜多方駅と五色沼入口を結ぶ路線の運行を開始しました。翌2004（平成16）年7月3日には福島県北塩原村の委託による桧原湖周遊レトロバス「森のくまさん」の運行を開始、初代のボンネットバス「森のくまさん1号」は2019年6月23日まで運行されました。森のくまさん1号は、廃食用油を精製したバイオディーゼル燃料で走行する環境にやさしいバスとして注目を浴び、親しまれましたが老朽化により引退しました。個人的には、このバスの写真が撮れなかったのが大変残念でした。

磐梯東都バスは、猪苗代駅と裏磐梯高原を結ぶ路線では会津バスと競合していましたが、会津バスが猪苗代管内から撤退したため、会津バスが運行していた路線を引き継いで営業していましたが、メインの裏磐梯高原路線がコロナ禍による乗客減の影響を受けるなど利用者数が減少したため、2022年4月末で開業当初から運行していた喜多方方面から撤退、2023年9月末でバス事業から撤退し、翌10月1日からは再び会津バスが磐梯東都バスの全運行路線を引き継ぐ形で猪苗代地区のバス運行を開始しました。

磐梯東都バスの車両は、裏磐梯高原などの観光輸送を主体としているため、3枚写真を載せているうちの一番上の写真のように、中型バスながら前扉のみの観光輸送用ボディが架装されていました。真ん中の写真のバスは、親会社の東都観光バスのデザインがそのまま採用されています。一部、会津バスから引き継いだ



磐梯東都バス

(写真上：NB-3号車 いすゞガーラミオ KK-LR233J1, 2003年式)  
(写真中：NB-7号車 いすゞRR系ガーラミオまたは日野メルファと思われるが形式・年式不明)  
(写真下：NB-13号車 三菱エアロミディ KK-ME17DF, 2003年式、元小田急バス)

生活路線には、写真下の小型のバスが充当されていました。

余談ですが、私は9月のとある土曜日に磐梯東都バスの各路線に乗車しましたが、たまたま某民放のバラエティ番組の収録がバス車内で行われており、最後部に乗車していた私がモザイク姿で芸能人の後ろに映っていることを番組で確認しました。今までそれなりの頻度でバスに乗り続けておりますが、バス車内の番組収録に乗り合わせたのは初めてでした（笑）。





裏磐梯高原駅に近い裏磐梯物産館からは五色沼を眺められます



裏磐梯高原駅のバス待合所  
磐梯東部バスと会津バスの2社のバス停が並んでいました  
室内にはちょっとレトロな観光案内図もありました

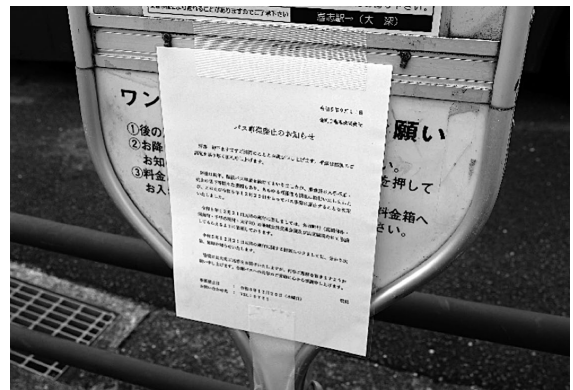


かつて磐梯東部バスで運行されていた  
「北塩原村公有民営バス」は、2022年から会津バスが運行  
(いすゞエルガミオンステップ 2KG-LR290J4, 2021年式)

五色沼のすぐそばにある「裏磐梯高原駅」は、かつて会津バスが運行していた時代の建物のようです。待合所の看板は、以前は「会津バス 磐梯高原駅」と書かれていたようで、磐梯東部バスに移管されたときに修正した時の苦勞が偲べれます…。

## ● 金剛自動車

金剛自動車は、1925（大正14）年5月30日に金剛自動車乗合組合として一般乗合旅客運送事業の免許を取得、1950（昭和25）年に一般貸切自動車運送事業、翌1951（昭和26）年に一般乗用旅客自動車運送事業の免許が認可されました<sup>5)</sup>。その後は富田林市を中心とするエリアでバス・タクシー事業を営んでおりましたが、乗務員の人手不足・売上の低下等様々な要因により、2023年12月20日限りでバス事業の廃止を決定しました<sup>6)</sup>。バス事業廃止後の運行については、大阪府富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村の地域公共交通会議および法定協議会による協議の結果、金剛自動車が運行している15路線中10路線を近鉄バス、南



金剛自動車のバス停に貼られた「バス事業廃止のお知らせ」  
(近鉄喜志駅前にて、2023年10月撮影)

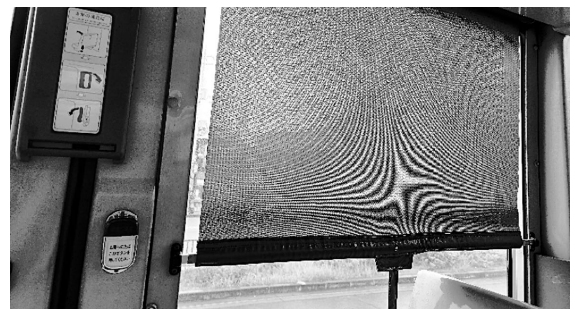


富田林駅前次々と発着する金剛自動車のバス（左2202号車：日産ディーゼル スペースランナー A PKG-AP35UK, 2010年式、右1903号車：三菱エアロスター PJ-MP35JK, 2007年式）  
2台ともに三菱自動車バス製造（MBM）のボディを架装





西日本車体工業の96MCボディを架装した金剛自動車  
(日産ディーゼル スペースランナー PKG-RA274KAN, 2009年式)  
登録番号は平成21年導入の2号車を意味する



金剛自動車1902号車の車内 後部座席の配置が独特  
(日産ディーゼル スペースランナー PKG-RA274KAN, 2009年式)

海バスおよび3町村のコミュニティバスによる運行とする予定になっています。

金剛自動車の路線バスに乗るために訪れた近鉄富田林駅前には、とても事業を廃止してしまうようなバス会社とは思えないくらいの高頻度で次々にバスが到着と発車を繰り返していました。他のバス事業者では、終着のバス停で利用客を降ろした後、次のバスの発車時刻の1~2分前位まで待機してから乗り場へ移動して客を乗せて発車していくことが多いですが、金剛自動車の場合は乗降終了後もドアを開けたまま10分以上乗り場で待機することが通常でした。このため、他の乗客の迷惑にならないようにゆっくりとバス車内外の撮影を行うことができました。

金剛自動車の路線バスの車内に入ると、まず目を引いたのは後部座席の配置でした。片側に前向き座席、もう反対側は横向き座席という他の事業者ではあまり例を見ない並びであることと、乗車したうちの1台は後部の前向き座席が一般的なバスの座席より1.5倍程度広くっており、私のような幅広な体型の人にはとてもありがたかったです(苦笑)。

## おわりに

今回は、昨今明るみになってきた「2024年問題」などに起因してバス事業を廃止する2つの事業者に注目して、実際に乗車してその様子を述べて行きました。今後、同様に事業を撤退する事業者が相次ぐことも想定され、動向が気になるところです…。

最後までお読みくださりまして、ありがとうございました。

## 【参考文献】

- 1) 厚生労働省, 時間外労働の上限規制の適用猶予事業・業務  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/gyosyu/topics/01.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/gyosyu/topics/01.html)
- 2) 厚生労働省, バス運転者の改善基準告示が改正されます!  
<https://www.mhlw.go.jp/content/001161937.pdf>
- 3) つくばエクスプレス, TXからのお知らせ「筑波山きっぷ」「筑波山あるキップ」の発売中止について  
[https://www.mir.co.jp/topics/2023/post\\_220.html](https://www.mir.co.jp/topics/2023/post_220.html)
- 4) 北塩原村, 広報きたしおばら, ~森のくまさん1号ラストラン~, No.448, 2019年7月  
<https://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/docs/2019011000013/files/201907.pdf>
- 5) 金剛自動車株式会社, 会社案内  
<http://kongoujidousha.com/campany.php>
- 6) 金剛自動車株式会社, バス事業廃止のお知らせ, 令和5年9月11日  
[http://kongoujidousha.com/pkobo\\_news/upload/78-0link\\_file.pdf](http://kongoujidousha.com/pkobo_news/upload/78-0link_file.pdf)